



# 県内主要産業の動向

2017年3・4月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	17年2月	17年3月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は低調に推移。ホテル・レストラン向けの動きが依然鈍い。加えて、材料であるステンレス価格の上昇基調を受けて、仕入れコストも増加している。若手社員を対象とした技術者養成に業界として取り組んでいるが、担い手不足は続いており、技能承継が引き続き課題。
金属 ハウスウェア	●	●	→	業務用は低調だが、2月、3月の引っ越しシーズンでの買替需要から家庭用の受注が回復。また、企業向けノベルティ商品にも動きがみられた。そうした中、燕製品のブランド化を目的とした「メイド・イン・ツバメ」の登録先が小規模事業者にも拡がり、認証件数は着実に増加している。
作業工具	◐	◐	→	国内向けは、春の需要期に入り計画通りの生産、販売を維持。輸出も東南アジア各国では旧正月明けの復調が継続。中国、韓国等で景気後退が懸念されるものの、需要は相応にみられる。鋼材価格上昇がコストアップ要因となり、販売価格への転嫁、仕入先変更を検討する業者も。
電子部品 ・デバイス	○	○	→	受注は回復基調。半導体関連では、市場在庫の逼迫感が強まっており、半導体や半導体素材の受注が堅調。電子部品関連では、半導体市況の改善を受けて半導体製造装置向けが回復。携帯端末関連でも高水準な受注が続く。足下では、受注の回復を受けて人手不足感が強まっている。
鋳物	●	◐	→	受注は改善傾向。工作機械向けは中小型機械を中心に持ち直し基調。IT向けはパソコン関連などで明るい兆し。自動車向けは乗用車が堅調ながらもトラック関連が伸び悩み。受注改善基調も、人手不足、原材料高など製造コスト上昇により収益増に結びつかない状況にある。
金型	◐	◐	→	受注は横這い水準。プレス金型、プラスチック金型では、これまで堅調だった北米向けの自動車関連需要が一巡した模様。家電関連は、主力である暖房機器が端境期にあり、受注は低水準。県央産地では、資材価格の上昇などの要因もあり、先行きについて慎重な見方も出ている。
一般機械	◐	○	→	スマートフォン関連は金型、部品向けで需要が堅調。建設・プラント関連は依然として好材料に乏しい。自動車関連は北米市場向けが好調を維持。航空機関連は欧州、新興国の旅客機需要を受け高水準を維持。中国は自動車向けを中心に電気・精密機械関連が増加傾向。全般的に中位安定局面であり、更なる外需の増加に期待。



業種	景況			コメント
	17年2月	17年3月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地では、受注は前年並みの水準。イベントの多い春を迎え、新たな動きが期待されたものの、盛り上がりには欠けた。コスト面では、白生地等の資材価格が下げ止まっている。一方、五泉産地では、生産額・数量とも前年並みとなったが、依然として水準は低く、厳しい状況が続いている。
合繊織物	●	●	→	秋物生産が終了し端境期入り。秋物は、百貨店向け定番商品が低調のまま終了。一方で、海外向け高級品・特殊品は少量生産ながら安定的な受注があった。収益面では原材料高も加わり厳しい状況が続く。そうした中、栃尾産地では、製品PRのため、首都圏での共同展示会を計画している。
ニット	●	●	→	春夏物最終生産期にあたるが、アパレル側の発注は慎重で生産は例年より早くは終了している。足下では、展示会向け秋冬物の生産期に入るが、不透明な状況は続く見通し。そうした中、五泉産地では、4月から独自ブランドマーク付商品を百貨店などで販売し、認知度アップと需要喚起に努めている。
木工家具	●	●	→	業況は総じて低調。業務用では新規開設の商業施設や店舗関連を中心に相応の受注がみられた。一部業者は飲食チェーン店からの受注継続が見込まれる。一方、家庭用では受注確保に依然苦慮。地元商工団体は他の業種と共同で、製品のブランド化や大型催事の開催による製品PRを模索中。
清酒	●	●	→	3月の出荷量は、県外向けの落ち込みにより、全体では前年を下回った。消費者の節約志向などを背景に、飲食店向けを中心に普通酒の出荷が伸び悩んでいる。足下では、需要の落ちる夏場を控え、季節商品の開発や新しい飲み方の提案などで需要喚起に取り組む動きがみられる。
米菓	◐	◐	→	3月は春の行楽シーズンを背景に生産は盛り上がりを見せた。売上は、新商品や季節限定品などが堅調で総じて前年並みを確保。足下では、ポテトチップスの一部販売休止を受け、米菓の受注が増加。そうした中、人手不足により生産が間に合わないことを懸念する声も聞かれた。
建設	◐	○	→	公共工事は、補正予算関連工事の発注増を受けて持ち直し基調。足下では、市町村発注の工事が増加している。民間工事は、大型工事は少ないものの、医療・福祉、卸・小売業で底堅い動きがみられる。住宅建設は、概ね堅調に推移しているが、足下で貸家の増勢に一服感がみられる。
大型小売店	◐	◐	→	3月は天候に恵まれず、百貨店・スーパーとも客足が伸び悩み。商品別では食品が堅調だったものの、春物衣料が不振で売上は前年を下回った。足下では気温上昇に伴い、衣料品に動意。時計などの高額品にも動き。そうした中、百貨店では県産品の常設店開設などにより需要喚起。